

容赦しない 運命が暴れ出す

大森南朋

篠田麻里子

鈴木浩介

嶋田久作

間宮夕貴

吉村界人

桐谷健太

菅田俊

脚本・監督 入江悠
製作 東映ビデオ、銀本金庫、東京テアトル、スタジオブルー、配給 東京テアトル
2017年 / 日本 / カラー / 125分
©2017「ベンジテ」製作委員会、vigilante-movie.com
悲しみの「暴力」が生み出した衝撃の問題作

『22年目の告白—私が殺人犯です—』
入江悠 脚本・監督 最新作



救いのない地方都市 人間、家族という逃れられない 悪循環が男たちを狂わせる

【ビジランテ】とは—

警察や法律が機能していない世界、己の力で本当に大切なものを守り抜く集団。

幼い頃に失踪した長男・一郎(大森南朋)。市議会議員の次男・二郎(鈴木浩介)。デリヘル業雇われ店長の三男・三郎(桐谷健太)。別々の道、世界を生きてきた三兄弟が、父親の死をきっかけに、再会する。深く刻まれた、逃れられない三兄弟の運命は再び交錯し、欲望、野心、プライドがぶつかり合い、事態は凄惨な方向へ向かっていく——。

2009年自主制作による映画『SR サイタマノラッパー』が、ゆうばり国際ファンタスティック映画オフェシアター・コンペティション部門グランプリ、第50回映画監督協会新人賞など数々の賞に輝き、渋谷ユーロスペースで3日間の満員立見、池袋シネマ・ロサ初日レイトショー歴代動員記録を更新するなど、ミニシアターを席卷した鬼才 入江悠監督。今年に入り、自身が脚本・監督を務めた『22年目の告白—私が殺人犯です—』が邦画3週連続1位の快挙をうちだし、高い評価を獲得。日本映画界における最重要監督の一人として次回作に注目が集まる中、最新作は自身が企画し、実力派俳優とタッグを組み、再び埼玉・深谷を舞台にメガホンをとった。

トリプル主演を果たしたのは、実力派俳優として北野武監督『アウトレイジ 最終章』など次々と話題作に出演、唯一無二の存在感を放ち続ける大森南朋。ドラマ「ドクターX～外科医・大門未知子～」シリーズの演技が好評を博し、シリアスな役からコミカルな役まで幅広く演じるカメレオン俳優・鈴木浩介。昨年6本の話作に出演、今年も映画『火花』でW主演を務めるなど、今年も躍進が止まらない桐谷健太。

また豪華トリプル主演に加え、トップアイドルから本格派女優の道を歩み、本作ではファムファタールとして女優の新たな一面を開花させた篠田麻里子も参戦。

入江悠監督オリジナル脚本に豪華キャスト陣が惚れ込み集結、新たなステージへ進む。



堕ちきった男たちの哀しい生き様を炙り出す、
鬼才 入江悠監督オリジナル作品にして新境地 かつてない衝撃作がここに誕生——。

12月9日(土)よりテアトル新宿他 全国公開